

通貨ペアにこだわらない

川崎ドルえもん流

裁量トレード手法

川崎ドルえもんはデイトレーダー①

- FXには、**スキャルピングとデイトレードとスイングトレードの3つのトレード方法**があります。

① **スキャルピングトレード**

- スキャルピングは**数秒から数分の短い時間で数銭の小さな幅値を狙うトレード方法**で、FXで一番儲かる手法です
しかし、リスクが一番大きく、トレード中に世界の重要人物が発言するなど、外的要因で大きな損失が出ることもあります
常にチャートを見ている必要があり、かなり**精神をすり減らす手法**。
あくまで個人的にですが、日中仕事で精神をすり潰している兼業トレーダーにはあまりオススメできない手法です

川崎ドルえもんはデイトレーダー②

②デイトレード

- ・デイトレードは数時間から1日で数十銭の利益を狙う方法で一番やっている人が多い手法です。

リスクは中で1日に数回チャートを見る必要があります。

精神的負担もスキャルピングとスイングの中間ぐらいで、FXを初めて挑戦するならデイトレードがオススメです。

③スイングトレード

- ・スイングトレードは数日から数ヶ月のトレード期間で数円程度の利益を狙う手法です。

通貨枚数を減らして数円程度の大きな値幅を狙います。

同時にスワップも取得できることも多く、為替変動の利益とスワップポイントの両方で稼ぐことができます。

川崎ドルえもんはデイトレーダー③

- ・川崎ドルえもんは二種類のFXトレードを行っています。

①デイトレード

- ・私は、裁量トレードではデイトレードを行っています。ポジションを持つ時間は、4時間から最大2日ほど持つ、少しスイングトレードに近いトレード方法です。

②半システムトレードでスイングトレードのグルグルトレイン

- ・川崎ドルえもんが開発したIFD注文と指値・逆指値注文を使った半手動のトレード方法を行っています。
グルトレはおよそ3週間程度の運用を行っています。
- ・今回は川崎ドルえもん流の裁量デイトレードを紹介していきます。

F Xトレードで重要視しているもの

川崎ドルえもんはF Xトレードで下記の3つのことを重要視しています。

①資金管理

資金から1回のトレードで損しても良い金額と、レートから損切りするpips数を決めて、持っても良いロット数を計算すること。

②時間管理

F Xは24時間トレードが可能ですが、時間帯によって傾向があり、それを理解すること。月によっても傾向があります。

③値幅管理

抵抗線や支持線などのラインや、テクニカルバンドから損切りと利確する値幅を決めること。

資金管理①

最初に資金管理を復習していきましょう。

①自分の資金から 1 回のトレードで損しても良い金額を決める。

計算式：資金×0.02～0.05＝損しても良い最大損失額

私は、資金の 5 %を 1 回のトレードで損しても良い金額と決めているので、
「資金×0.05」で損しても良い金額を計算します。

資金が100万円あるのであれば、100万円×0.05＝で 5 万円が 1 回のトレードで損しても良い金額になります。

これを、F Xトレードを開始する前に毎回、必ず計算しています。

資金管理②

②次に何銭逆行したらを決めていきます。

- 実は私が「実際に損切りする銭数」と「計算上で行う損切りの銭数」は少し違います。
- **実際に損切りする銭数は、** 計算上で行う損切りの銭数の前に損切りを行います。
基本的に、**直近の高値や安値を更新したら損切り、もしくは時間が経過しても順行していなければ損切り**を行っています。
- **資金管理の計算上で行う損切りの銭数**は、私はデイトレーダーなので**50銭**としています。デイトレードで50銭の逆行は、明らかに失敗のトレードだからです。

資金管理③

③損しても良い金額と損切りする銭数が決まったら、次に取引する通貨枚数を決めていきます。

- ・計算は以下の式になります。

計算式：

$(\text{損しても良い金額}) \times (100 \div \text{損切りする銭数}) = \text{持っても良い通貨枚数}$

- ・もし、損しても良い金額が5万円で、損切りする銭数が50銭だった場合は、 $50,000\text{円} \times (100 \div 50\text{銭}) = 100,000$ 通貨が最大限持っても良い通貨枚数になります。

資金管理④

- この計算をトレードする前に毎回必ず行います。前回のトレードで資金額が変わっているからです。
- この計算した通貨枚数は「**最大限持っても良い通貨枚数**」なので、実際にはこれを分割してトレードを行います。
- この資金管理は、**FXトレードで一番重要**です。
個人的には、FXで勝つ方法の過半数を占めていると思っています。
FXを学んでいると、どうしても先に手法を勉強してしまいがちですが、一番最初に学ぶべきなのは、このような資金管理だと私は思っています。
実際に私はFXを始めてから3年間資金管理を行っていませんでしたが、資金管理を始めてから収益が改善したと想うところがあります。

時間管理①

- ・ F Xは24時間トレードが可能です、川崎ドルえもんはその24時間を**5つの時間帯**に区切っています。

- ①アジア時間前半（8時～12時）
- ②アジア時間後半（12時～15時）
- ③欧州時間前半（15時～20時）
- ④欧州・アメリカ時間（20時～24時）
- ⑤アメリカ時間後半

この5つに分けた時間は**それぞれ市場を引っ張っている人・国・思考が違う**ので、各々の時間帯のクセがあります。

時間管理②

- ・私は、この5つの時間の切り替わる前後1～2時間がメインでトレードを判断する時間です。具体的に言うと、

① 7時～8時

② 12時～13時

③ 14時～16時

④ 19時～21時

⑤ 23時～25時

+ 経済指標の時間

になります。赤文字の時間は特に重要な時間だと思っています。

時間管理③

- より細かい判断時間を紹介します。
 - 7時～7時10分までの5分足の動き
 - 7時～8時までの1時間足の動き
 - 14時～14時10分までの5分足の動き
 - 15時～15時10分までの5分足の動き
 - 16時～16時10分までの5分足の動き
 - 19時～21時までの1時間足の動き
 - 23時半～24時までの動き
 - 23時～25時までの1時間足の動き
- + 経済指標の時間

この上記時間の動きは次の市場の時間帯まで継続しやすい。

時間管理④

- 私はこの時間の値動きでポジションを持ったり、利益確定と損切りを判断しています。
- この時間は、その前の時間の動きを継続するか、反転するか判断できる重要な時間です。
- この時間のテクニカルを見て、利益確定するのか、損切りするのかを総合的に判断します。

時間管理×値幅管理①

次に、ポジションを取る位置と、損切りと利益確定を決める「**値幅管理**」を時間管理を絡めて紹介します。

- ・ポジションを取る位置と決済の判断は大きく分けて3つの判断方法で総合的に判断します。

- ①ボリンジャーバンドの中心線と $\pm 2\sigma$ （シグマ）
- ②ストキャスティクスのパーセントとゴールデンクロス・デッドクロス
寸前のところ
- ③時間帯が切り替わる際の値動き

時間管理×値幅管理②

- 私はボリンジャーバンドの設定値を変更しています。
ボリンジャーバンドの基本設定は21もしくは20ですが、私は設定を105に設定しています。

ボリンジャーバンド 設定21



ボリンジャーバンド 設定105



時間管理×値幅管理③

- こうやって見てみると、レートがボリンジャーバンドの中心線やシグマで反発していることが分かります。



時間管理×値幅管理④

- このボリンジャーバンドの $\pm 2\sigma$ や $\pm 3\sigma$ にレートが達して、相場が落ちて着いたと判断したら中心線に向かう方向で新規ポジションを持ちます。

落ちて着いたと判断するところは、例えば上昇後に大きなヒゲが $+2\sigma$ の上に付いた陽線や、 $+3\sigma$ を超えた陽線のあとに陰線が発生して確定したところなどです。

- この落ちて着いたと判断する時間が先ほど紹介した時間ならより信頼度が上がります。
- ポジションを持ったら、中心線もしくは、 -2σ を利益目標としますが、先ほど紹介した時間帯で逆行するような動きが発生したら決済します。

時間管理×値幅管理⑤

- このボリンジャーバンドの判断と同時に、**設定数値を26・17・9に変更したスローストキャス**も見ています。



- ・ ストキャスは買われすぎ・売られすぎを表示するテクニカルで、この2本線の向きも判断材料になります。
このストキャスが80%付近でデッドクロスしたらショートのパジションを持ち、2本線の間隔が20%付近で狭まってきたら決済します。
この判断をボリンジャーバンドと時間管理を含めて総合的に判断します。

通貨ペアにこだわらない①

私は、このような判断基準でトレードを行っていますが、**通貨ペアにはこだわっていません。**

今、世界中にはたくさんの国がありますが、その時代や時間によって注目されている国は逐一変わっていきます。

例えば、アメリカの大統領選挙が注目されることもあれば、イギリスの国民投票など、最近では、アメリカと中国の貿易戦争が話題ですよ！

話題になる国は、その日1日でも随時変わっていきます。

午前中は、アジア圏の経済指標が多くあり、日本や中国、オーストラリアが注目されていますし、夜はアメリカの経済指標が多くあります。このように**逐一注目されている国は随時変わっていきます。**

通貨ペアにこだわらない②

少しイメージしてほしいのですが、例えば、**今日日本が注目されていたとします。**
この時に、「**円高だからドル/円をショートしよう。**」と考えたとします。
しかし、**同時にアメリカも注目されていて、ドル高も同時に発生してしまったらどうなるでしょうか？**

結果は、他のユーロ/円などのクロス円は下落しているのに、ドル/円は下落しない状況になってしまいます。

では、この時にドル/円とユーロ/円とポンド/円と豪ドル/円とNZドル/円とカナダ/円とスイスフラン/円の7大クロス円をショートしていたらどうなるのか、イメージしてみましょう。

すると、**ドル/円が損失発生していても、他の6通貨ペアが利益になっていたら総合的に利益になります。**

そういった意味で、1つの通貨ペアにこだわるのではなく、**その時に注目されている通貨に関する通貨ペアすべてを取引するのがオススメです。**

川崎ドルえもん流裁量トレード①

実際に、川崎ドルえもんのトレードの流れを説明していきます。

- ①まず、資金管理で計算した持っても**良い通貨枚数を10～15に分割**します。
100万円の資金があったとして、50銭で損切りするとしたら、持っても良い通貨枚数は10万通貨と紹介しました。
これを10分割すると1万通貨です。
- ②これを1つの通貨ペアではなく、先ほど紹介した**テクニカル判断に当てはまる通貨ペアを探して1～7種類程度の通貨ペアに振り分け**ます。
この時に、すべての通貨ペアにすべてのロット数を割り振ってはいけません。
持っても良いロット数の3割程度は逆行した時や、利益が乗っている通貨ペアに振り分けるために持っておいて、1時間後か4時間後にポジションを確認する時に追加する予定でいます。

川崎ドルえもん流裁量トレード②

・まずは、**各通貨ペアの1時間足**を見ます。

僕は、時間管理で紹介した時間に**10通貨ペア程度の1時間足をすべてチェック**します。



川崎ドルえもん流裁量トレード③



川崎ドルえもん流裁量トレード④

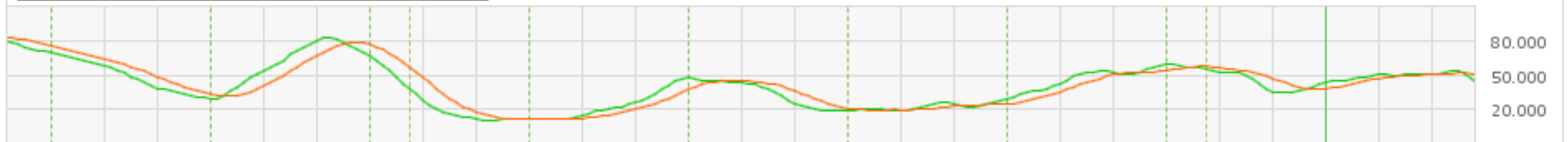
🇬🇧 🇯🇵 GBP/JPY 60分足 ローソク BID ▼



ボリンジャーバンド: ■基準[105] 132.870 ■σA[2.00] 133.402-132.337 ■σB[3.00] 133.669-132.071 ■σC[4.00] 133.935-131.805



ストキャステクス: ■%D[17] 40.245 ■Slow%D[9] 45.186

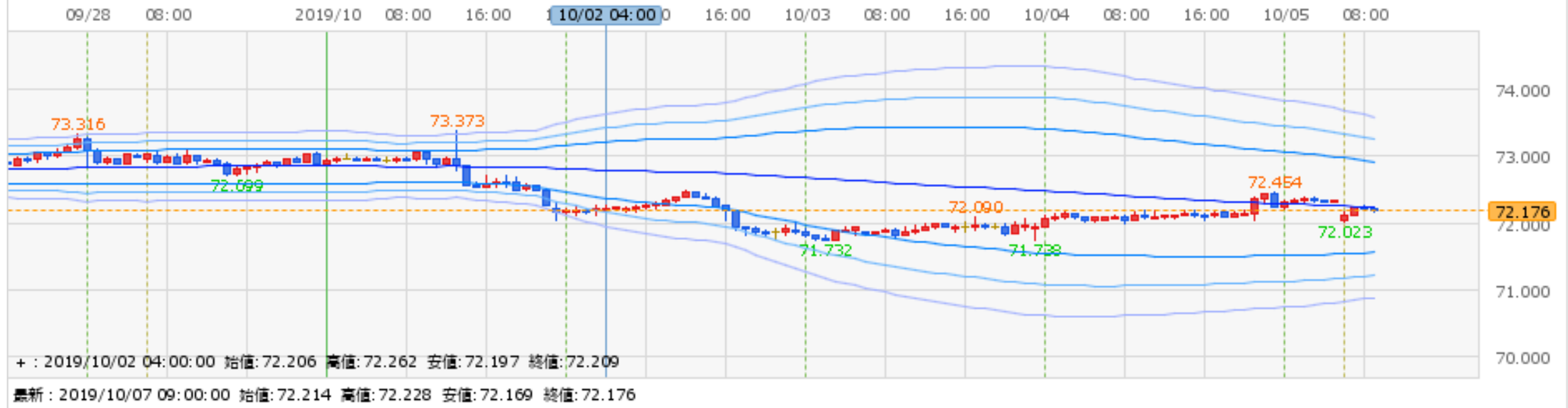


川崎ドルえもん流裁量トレード⑤

AUD/JPY 60分足 ローソク BID



ボリンジャーバンド: ■基準[105] 72.789 ■σA[2.00] 73.210-72.367 ■σB[3.00] 73.421-72.157 ■σC[4.00] 73.631-71.946



ストキャステクス: ■%D[17] 9.924 ■Slow%D[9] 16.809

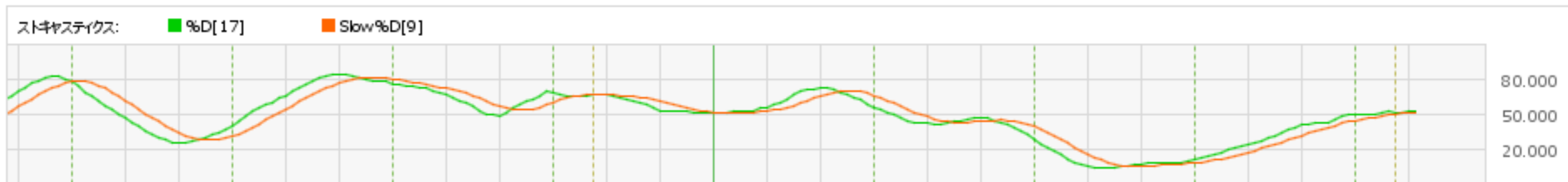


川崎ドルえもん流裁量トレード⑥



川崎ドルえもん流裁量トレード⑦

CAD/JPY 60分足 ローソク BID



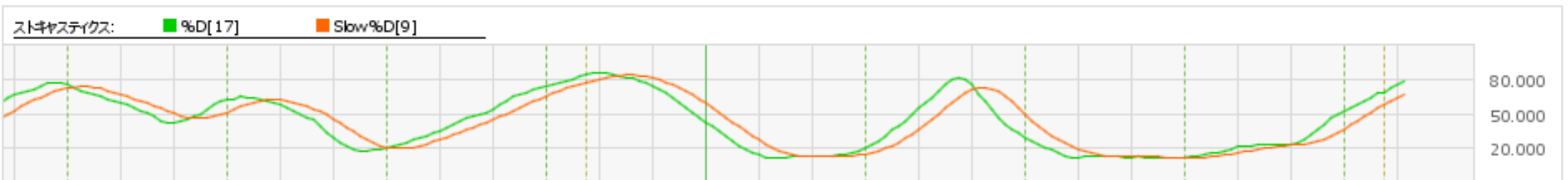
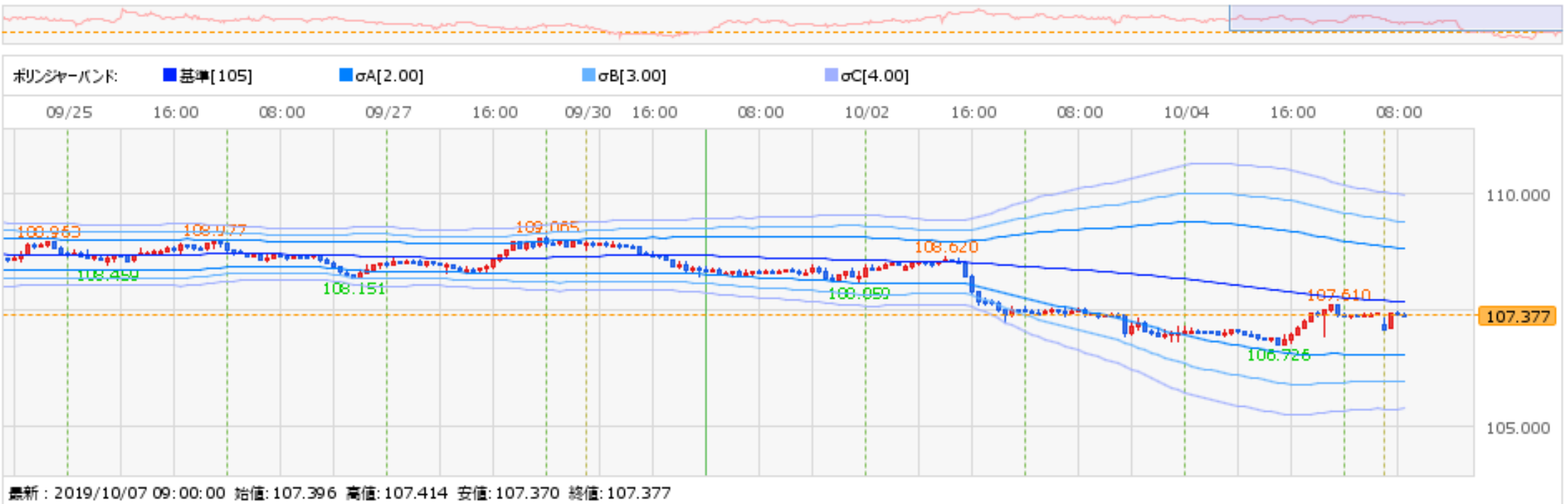
川崎ドルえもん流裁量トレード⑧

チャート(CHF/JPY 60分足)

デザイン  

  CHF/JPY 60分足 ローソク BID



川崎ドルえもん流裁量トレード⑨



- このようにチェックしていき、テクニカル判断に合う通貨ペアすべてでポジションを持ちます。その1時間後に自分の判断が正しかったかを判断して、ポジションを増やす通貨ペアと決済する通貨ペアを判別します。その後は、次の市場時間に切り替わる時に再度チェックします。

川崎ドルえもん流裁量トレード③

- ・このように、私は明確にトレードする通貨ペアは決めておらず、その時々においてテクニカルでベストな複数の通貨ペアや、円高だと感じたら、7大クロス円をショートしたり、ドル高だと感じたら、7大ドルストレートをドル買いの方向で持ったりしています。
- ・ポジションの取得と決済する判断時間は、市場が切り替わる時間をメインとしていますが、重要な経済指標がある場合は例外としています。
- ・このようなトレードスタイルを、私は確立していますが、このようなトレードができる一番の理由は「**資金管理**」です。
FXで儲けるためには、資金管理は必須項目です。しかし、その重要性を皆さん理解していません。FXで儲けたいならお願いします。必ず資金管理を勉強してください。

<リスク開示>

このセミナーは、情報提供を目的としており、FX取引の勧誘を目的としたものではありません。また、実際の市場動向とは異なる可能性があり、断定的判断を提供するものでもありません。当該セミナーの内容を予告なく変更する場合があります。

当該セミナーの内容および資料のご利用によりお客様に損失が生じた場合であっても、当社および当該セミナーの講師（所属会社を含む。）は一切の責任を負いません。お取引につきましては、お客様ご自身の判断と責任において行っていただきますようお願い申し上げます。

なお、セミナーに関する著作権は、当社および作成者に属します。

お客様の私的使用目的以外での使用、他人への譲渡や販売または再配信等を行うことはできません。

<注意喚起>

店頭外国為替証拠金取引は、元本や利益を保証した金融商品ではなく、為替レートの変動等による損失発生可能性があります。さらに、レバレッジ効果（想定元本と比較して少額の資金で大きな取引ができる仕組み）や為替レートの変動等によって注文（ロスカット注文を含む）が約定しない場合等、元本を上回る損失発生の可能性があります。

特に、マイナー通貨（流動性の低い通貨）の取引をされる場合、元本以上の損失発生の可能性が高くなります。加えて、スワップポイント（通貨間の金利差調整額）においては通貨ペアやポジションの状態（売りまたは買い）によっては、受け取れる場合もあれば、支払わなければならない場合もあります。

当社は、インターネットを通じて店頭外国為替証拠金取引サービスをご提供しておりますので、お客様のパソコン・インターネット環境や当社のシステムに不具合が生じた場合等、取引ができなくなる可能性があります。また、お客様の取引の相手方は当社（相対取引）となっており、取引所取引とは異なりますので、契約締結前交付書面をよくお読みいただき、内容をご理解の上、ご自身の判断により取引を行っていただきますようお願いいたします。

商号：ヒロセ通商株式会社

業務内容：第一種金融商品取引業

登録番号：近畿財務局長（金商）第41号

加入協会：金融先物取引業協会会員番号1562